

### 3. 集合住宅居住者は水道水を飲んでいるのか

この章以降、「現代の水運び」についての調査結果となる。まず、集合住宅居住者は水道水をどの程度飲用水として飲んでいるのだろうか。今回の調査では、ボトルドウォーターの運搬についてを把握するために、水道水しか飲んでいない人は事前のスクリーニングで排除した。結果、水道水以外の水を飲んでいる人を母数としている。

参考程度ではあるが、スクリーニング時の回答では、水道の水しか飲まないという東京都内の40歳～79歳の集合住宅3階以上の居住者は778名で、約25.7%であった。これは決して高い水準とは言えないだろう。

表 13.集合住宅居住者の年齢別水道飲用傾向

|                         | 40～49歳 |       | 50～59歳 |       | 60～69歳 |       | 70～79歳 |       | 総計  |       |
|-------------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|-----|-------|
|                         | 実数     | 構成比   | 実数     | 構成比   | 実数     | 構成比   | 実数     | 構成比   | 実数  | 構成比   |
| 水道の水しか飲まない              | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0%  | 0      | 0.0%  | 0   | 0.0%  |
| 主に水道の水を飲むが、たまに水道以外の水を飲む | 42     | 42.0% | 44     | 44.0% | 38     | 38.0% | 50     | 58.1% | 174 | 45.1% |
| たまに水道の水を飲むが、主に水道以外の水を飲む | 27     | 27.0% | 28     | 28.0% | 28     | 28.0% | 25     | 29.1% | 108 | 28.0% |
| 水道以外の水しか飲まない            | 31     | 31.0% | 28     | 28.0% | 34     | 34.0% | 11     | 12.8% | 104 | 26.9% |
| 総計                      | 100    |       | 100    |       | 100    |       | 86     |       | 386 |       |

4段階に分けて選択肢を設けたが、「主に水道の水を飲むが、たまに水道以外の水（ペットボトルやウォーターサーバーなどの水）を飲む」が45.1%で半分に足りていない。

「たまに水道の水を飲むが、主に水道以外の水（ペットボトルやウォーターサーバーなどの水）を飲む」が28.0%、「水道以外の水（ペットボトルやウォーターサーバーなどの水）しか飲まない」が26.9%という結果である。

集合住宅にあっては、「主に水道以外の水を飲む」と「水道以外の水しか飲まない」を合わせた「非水道飲用者」が54.9%いることになるし、スクリーニングでは水道水を飲まないという堅固な回答者も4人に1人という結果である。しかも、それは40歳代から70歳代まで大差ない。前述のとおり現在、日本の分譲マンション居住者は1400万人であると推計されているが（国土交通省）、単純に「水道以外の水しか飲まない」という26.9%をかけると、日本の分譲マンションでは約376万6千人が水道水を飲んでいないという計算になる。もちろん、本調査の母集団と、全国の水道原水の味等に差があるため一概に言うことはできない。しかし、けっして少なくない量とは言えるだろう。本調査の集合住宅居住者は水道水への不満者であると言ってもいいだろう。

さて、多くの回答者が水道水の不満者であることが明らかになったが、それでも居住者は水を飲まねばならない。特に非水道飲用者54.9%は水道以外の水を入手しなくてはならない。どのような水を、どこから入手し、運んでいるのだろうか。